

# 文京学院大 15年版ココロノート

## 精神障害者に情報マップ

精神障害者の社会参加のきっかけにしてほしいと、文京学院大学ふじみ野キャンパス(ふじみ野市)作業療法学科の学生らが製作した地域情報マップ「ココロノート(2015年版)」が完成した。640部を市役所や保健所などで順次配布するほか、同大のホームページからダウンロードできる。

掲載されているのは精神障害者向けの情報で、ふじみ野市と近隣の富士見市、三芳町、川越市の一部にある福祉作業所や病院の連絡先、アクセス方法、地図など。

作業所については、作業内容や主にとどのような障害の人が通っているのかを載せた。指導にあたった同学科の柴田貴美子准教授は「同じ障害の人が通っていることが分かると参加しやすいと考えた」と説明する。ふじみ野市などが実施する交流会の情報も盛り込み、「話すとききります」「ほっとしました」といった利用者のメッセージも添えた。

ココロノートの製作は、ふじみ野市の保健所や障害者家族会がこける精神保健福祉連絡会で、「地域の情報マップがほ



2015年版の「ココロノート」を手にする文京学院大の柴田貴美子准教授(前列中央)と学生ら

### ふじみ野や近隣市町施設

### 640部配布、ダウンロードも

しい」との声が上がったことがきっかけ。昨年、同大が連絡会との共同研究の成果として2014年版を初めて製作。今が役に立つという話をした。4年生の有志11人が取り組んだ。

製作に参加した水村翔さん(3年)は「病院に実習に行っ

た時、院内で作業療法を受けている人たちは退院後、どうするのだろうと考えた。ココロノートが役に立つという話をした。ダウンロードできる同大のホームページは、<http://www.u-bunkyo.ac.jp/faculty/health/2015/06/map.html>。

【岡礼子】